



川崎大師ロータリークラブ 週報

例会日: 毎週水曜日 PM12:30~
 例会場: 大本山川崎大師平間寺信徒会館
 事務局: 〒210-0812 神奈川県川崎市川崎区東門前1-15-10 カーサ石井1F
 Tel: 044-277-7569 Fax: 044-288-8550
 URL: <http://www.kawasakidaishi-rc.com/> E-mail: daisi-rc@eagle.ocn.ne.jp

会長 岩井 茂次
 副会長 船木 幸雄
 幹事 秦 琢二
 SAA 猪狩 佳亮

第2160回（本年度 第15回）例会 平成29年10月25日 一雨一

- 司 会 猪狩 佳亮 S A A
- 点 鐘 岩井 茂次 会長
- 斉 唱 「四つのテスト」 船山佳則ソングリーダー

卓話者の紹介 岩井茂次会長
 協同組合ギルダ横濱 専務理事 内藤信義様

会長報告 岩井茂次会長



- ① 10月12日・第2回第1グループ会長幹事会が鋼友荘で青木ガバナー補佐の下、7クラブ会長幹事全員出席にて開催されました。
- ② 10月17日・川崎中ロータリークラブ創立45周年記念式典に、会長幹事が出席いたしました。
- ③ 11月14日開催の、第51回神奈川県ロータリアン親睦テニス会（上野杯）のご案内が届いておりますので、提示いたします。11月5日が登録締切となります。

④ 本日は世界ポリオデーです。RIホームページ上には多くのイベントがアップされていますのでご確認ください。

⑤ パズルdeロータリー 当選者 鈴木幹久会員

幹事報告 秦 琢二会員

- ① 赤い羽根共同募金を事務局の大家の石井さんを通じて、東門前町内会に寄付いたしました。
- ② 3クラブ合同夜間例会が11月16日（木）に開催されます。本日例会終了を持って最終締切と致します。
- ③ 11月は例会変更および休会がありますので、ご注意ください。11月8日は11日（土）「地区大会」に変更、11月15日は16日（木）「3クラブ合同親睦夜間例会」に変更。11月22日は定款細則に基づく「休会」となります。詳細はあらためて通知いたします。
- ④ 米山奨学金寄付について、既に納入いただいた41名、合計82万円を10月24日付で、送金を完了いたしました。
- ⑤ 牛山年度に開催された「ロータリー経営大講演会記録」を配布いたしました。
- ⑥ 南三陸町戸倉小学校よりお葉書をいただきましたので回覧いたします。
- ⑦ 他クラブからお送りいただきました「週報」「例会変更」を回覧いたします。

出席報告

布川 浩出席副委員長

	会員数	対象者	出席	欠席	出席率
2160回	56	47	27	20	57.44%
2158回	56	46	26	20	56.52%
前々回の修正 メーカーアップ 6名			修正出席率 69.56%		

メイクアップ

遠藤悦弘会員、野澤隆幸会員、林 鶴会員、水口 衛会員、沼田直輝会員、磯田 稔会員

	会員数	対象者	出席	欠席	出席率
2159回	56	46	22	24	47.82%
2157回	56	45	29	16	64.44%
前々回の修正	メイクアップ	5名	修正出席率		75.55%

メイクアップ

宮山光男会員、野澤隆幸会員、林 鶴会員、坂東保則会員、裕 茂昭会員



スマイルレポート（ニコニコボックス）船木幸雄副会長



渡辺富士夫会員

市川パストガバナー年度の方々と、伊勢神宮に行ってきました。会費が少々残ったのでニコニコに入れます。

松井昭三会員

内藤様、お天気が悪いのに本日の卓話御苦労様です。寺尾さん御紹介有りがとう御座居ました。

横山俊夫会員

横浜ベイスターズ、日本一になれ！大洋ホエールズ時代からのファンとしてエールを贈る

猪狩佳亮会員

横濱DeNAベイスターズ 日本シリーズ出場おめでとうございます。ありがとうございます。

秦 琢二会員

内藤様、本日の例会卓話宜しくお願い致します。

岩井茂次幹事

強い者が勝つのではなく、勝った者が強いのです！ベイスターズとベイスターズファンの皆さん おめでとう！！

本日のニコニコのテーマ

「内藤様 ようこそお越し下さいました。本日の卓話、宜しくお願い致します。」

黒澤 稔会員、竹中裕彦会員、伊藤佳子会員、松井昭三会員、大崎克之会員、牛山裕子会員、鈴木幹久会員、岩井茂次会長、牛山裕子会員、星野祐治会員、水口 衛会員、沼田直輝会員、鈴木昇二会員、布川 浩会員、船山佳則会員、嶋崎嘉夫会員、寺尾 巖会員

合計 24,000円

ベネファクター授与 鈴木幹久委員長

ロータリー財団の中には年次基金、恒久基金がございます。人道的なプログラム、教育的なプログラムを支えるもので年次寄付だけでは足りないため恒久基金が出来たようです。それを使用せず貯めておき運用します。その収益を基に出来た基金です。

この基金に寄付をおこなったロータリアンをベネファクターといいます。

1,000ドルという大変な大金を寄付いただきました。ロータリー財団の委員会を代表して表彰いたします。

世界は戦争、病、貧困、医療不足、教育等に苦しむ方が非常にたくさんおられます。

こういう方を救うために世界に平和と理解をもたらす方法を今後探求し続けなければなりません。

岩井さんはこのことを理解して人道ニーズに永く関連するために恒久基金の支援をする決意をされたのだと思います。ロータリー財団に変わり岩井さんに認証の品を贈り感謝の言葉と意をさせていただきます。



立ち上げました。横浜でスカーフを商っている方々は本当に少ないです。横浜の地場産業なので 内藤さんにはがんばっていただかなければならないと思います。卓話宜しくお願いします。

委員会報告

同好会委員会 沼田直輝委員長
11/15 岩井年度第1回川崎大師RCクラブゴルフコンペの案内です。上総モナークカントリークラブで行います。出席に余裕があります。皆さんご出席ください。



卓話

「横浜開港とスカーフの歩み」内藤 信義様

寺尾さんの御紹介でこういう機会をいただきありがとうございました。今、牛山さんから御紹介ありましたように学校を卒業してスカーフの会社に勤めていました。自己紹介の中に横浜の南区というのは横浜に2つの大きな川が流れています。大岡川と帷子川です。中区、南区、港南区は大岡川。西区、保土ヶ谷区、旭区は帷子川です。私は南区の弘明寺商店街近くにある大岡小学校に通っていました。そのすぐ脇を流れていたのが大岡川です。道路を一つ隔てて捺染工場が有り、授業が終ると帰る途中「今日の川の色は赤だった」とか「また別の日は真っ黒だったとか」本当に垂れ流し状態の染料が流れている環境で育ちました。友達の中にも捺染屋の子どももいれば、印刷するための製版屋のお嬢さんや生糸業者の子どもとか、縫製屋さんの子もとか本当にスカーフに関わっている友達にことかかない時代でありました。なぜスカーフ業界に入ったかというとその当時の横浜は貿易が盛んでした。本当に華やかな時代でした。なかなか就職口もないということで縁があり横浜のスカーフに携わることになりました。携わって良かったことは一つあります。本当に綺麗なものを扱っています。品物の注文を受けて白い生地の色をつけるいろいろな柄になります。本当に綺麗なものがあがってきます。それはすごく嬉しく思います。

よく内藤は何屋さんなの？と聞かれると私は「女性の首を柔らかく絞めるお仕事です」「え？」って言われます。「実はスカーフ屋ですよ」というと「なるほど」ネクタイももちろん作っていましたが「女性の首を柔らかく絞めるお仕事です」そんな私が今日は短い時間ですがお話しをさせていただきます。

卓話者の紹介 牛山裕子会員 内藤信義様

昭和16年横浜市南区のお生まれです。高校卒業後地元のスカーフメーカーに就職されました。昭和50年 個人商店として独立。富士商として法人化しました。平成26年協同組合ギルダ横濱の専務理事になりました。どなたかの職業を継いだのではなく一人で




日本シルクのはじまり

- ❖ 弥生時代の遺跡から絹織物が出土
 - ◆ 中国の織物とは異なった糸使い
 - ▶ 日本独自の養蚕・製糸・染色技術
- ❖ 渡来人（中国大陸、朝鮮半島から）によって、中国の蚕種や養蚕・製糸・染色技術が持ち込まれる
 - ◆ 日本各地に広まる
 - ▶ 独自の発展

東のシルクロード

横浜開港とスカーフの歩み



シルクと共に歩んだ捺染産業
横浜スカーフが生まれるまでと近代捺染


 協同組合ギルダ横浜
専務理事 内藤 信義

横浜開港と生糸輸出

1859年 横浜開港により生糸輸出が増加
主要産地の諏訪地方、上州前橋地方と地理的に近いことから、横浜港の生糸輸出が発展

1862年 日本の輸出品の86%が生糸と蚕種に
「英一番館」（ジャーディンマセソン横浜支社）


（『横浜英吉利商館繁栄の図』一慈斎芬機・作） （『英一番館石碑』シルクセンター前）

海外のシルクのあゆみ

シルクの始まり	シルクロード
5,000-6,000年前の中国	中国▶中近東▶欧・北アフリカ
野生の蚕の繭▶絹織物	▶地中海諸国
蚕の飼育▶改良▶効率化	3世紀：コンスタンチノーブル
数々の遺跡から絹織物出土	6世紀：ペルシャ・スペイン
銭山漾遺跡(4,700年前)	そして
馬王堆漢墓（漢代初期）	▶ヨーロッパ各地に広がる

着尺から手巾へ

- ❖ 日本古来の着尺は海外の需要に合わず産業として伸びなかった。
- ◆ 椎野正兵衛が娘婿の椎野賢三と共にウィーンへ渡航
 - ▶ オーストラリア・ドイツの絹織物羅紗を見学
 - ▶ 帰国後研究した結果、寝衣や絹羽二重手巾を製造



絹のハンカチ誕生

輸出絹ハンカチ

1875年 二代目椎野正兵衛

（『椎野正兵衛商店』の商標と広告など）

白地から柄物へ

❖ 明治初期の輸出絹製品は、ほとんどが白地か無地染めであった。

諸外国からの需要



❖ 1885年 椎野正兵衛商店で「**絵ハンカチ**」が製造 (未だに製造法は謎のまま)

❖ 1890年 フランス商人メニールが木版を使ったハンカチを作る

▶ 日本初の機械によるモスリン染色仕上

5

捺染技術の変遷

❖ 更紗捺染

1. 厚めの和紙で型紙を作る
2. 型紙両面に柿渋を塗り図柄を掘る
3. 漆を塗る
4. 捺染台の表面に口ウ、樹脂、植物油を塗って生地を貼付ける
5. 生地の上に型紙を置き、染料液をしみ込ませたボタン刷毛で刷り込んで捺染する
6. 生地を台からはがし、蒸箱で蒸して発色と色止め、川で水洗



ボタン刷毛

8

捺染技術の変遷

❖ 木版捺染

1. 版木を彫る
2. 生地の裁断
3. 口ウを塗ったロール紙に生地を貼付
4. 木版に染料を塗り生地を貼った台紙を乗せバレンでこすって染色
5. 多色刷りの場合は版木を替えて染色
6. 生地を台紙からはがし、蒸箱で蒸して発色と色止め



版木・バレン・刷毛 (江戸時代)

6

捺染技術の変遷

❖ スクリーン捺染

関東大震災の混乱がおさまった1927年、横浜の貿易会社は業務を開始

- ◆ 「横浜輸出絹織物染色工業組合」が組織される
組合長：出口直吉 組合員34名
神奈川区岡野町に敷地1,008坪 建物9棟の共同作業所
- ◆ 三平文 (絹業試験所) がアメリカからスクリーン印刷を学んで帰国
- ◆ 守安滝三がスクリーン印刷の研究を開始
1928年 秋山工場でスクリーン捺染を絹織物に応用
1929年 捺染装置とスクリーン型の特許取得
酒井平安堂が「日本スクリーン捺染同業組合」設立

9

捺染技術の変遷

❖ 木版捺染に関わった人々

- 1881年 版木職人16人、版摺職人2人
- 1894年 加工・染色業者162人、内職者5,000人
- 1897年 ハンカチ加工を請け負う横浜の棟梁14人が連合組合を結成
- ※ 縁かがりをする女性内職「ハンカチ女」と呼ばれた
- ※ トントン捺染なども生まれた

7

捺染技術の変遷

❖ スクリーン捺染の試行錯誤

- ◆ 型枠、捺染台を工夫▶ 立て看板からヒント
- ◆ 女性の刷り手が多かった▶ 身長が低いため捺染台に傾斜をつけた

スクリーン捺染の工程の説明は省くが、染料を生地に染め付けた後、余分な染料と糊を落とすために水洗が行われる。

横浜には、大岡川、帷子川が、捺染の発展の上でも大きな役割を果たした。



大岡川で布を水洗している様子

10

横浜スカーフの誕生

1934年 絹ハンカチの輸出業者であった棚田勝次が、外国雑誌でスカーフを知り、ハンカチの絵柄を拡大してスカーフを作ったことがきっかけで、輸出されるようになった。

1937年 横浜には75工場があったが、時代は戦争へと向かい、あらゆる産業が軍需品生産への転換を余儀なくされる。

工場の85%は整理され、残った工場もシャツやパンツを作る軍の衣料工場に。

戦後、捺染業者が焼け跡にバラックを建て、進駐軍兵士の好みそつなハンカチを手捺染で染めて商売をはじめた。



これが婦人将校の目に留まり
NYのデパートに送られる
本格的な輸出に！

11

横浜スカーフと 協同組合ギルダ横濱

ギルダ横濱は、横浜捺染の様々な工程に携わる工場をひとつにまとめ、ファッション界のあらゆるニーズに対応できるものづくり企業の集団です。

染色繊維加工のプロ集団「ギルダ横濱」は、横浜の捺染の伝統の灯を消さない様にするのはもちろんのこと、伝統のメイドイン横浜と新たな技術開発を日本および世界に発表するべく日夜努力しております。

ご清聴ありがとうございました。

14

謝辞 岩井茂次会長

内藤様、今日は卓話、良いお話しをありがとうございました。絹といえば、絹のハンカチ等出てきましたが絹商品。私の二代前は福島の田舎、親の実家が絹、かいこで亡くなった祖父母はかいこさまという言い方をしていました。絹は重要なもので、貴重なものであり、高級品の代表のような形で、そこに今話をいただいた横浜ならではの技術、伝統と文化。これは一度無くなったら二度と戻ってこないもので、これを守られていらっしやる。この伝統文化を話を聞いていただくことによって私達はそれをまた繋いでいく一つの役割を果たしていかなければいけないのかなと感じました。今日は貴重な話をいただき本当にありがとうございました。

横浜スカーフの最盛期



図案のトレース (左)



染料の調合 (1950年ごろ)

1950年
ガチャマン景気

1952年
真知子巻き



染色 (1950年ごろ)



繰繰い (1950年ごろ)

12

横浜スカーフの今



オートスクリーン



インクジェットプリンター



ハンドスクリーン



CADシステム

13

●点 鐘 岩井 茂次会長

日時：平成29年11月11日(土)は
移動例会です。
国際ロータリー第2590地区
「地区大会」
11:30 登録開始
12:30 点鐘(地区大会)

場所：パシフィコ横浜会議センター
(みなとみらい駅より徒歩約3分)

**平成29年11月8日(水)は
通常例会はありません。**

クラブ
委員会

八尋 匡彦/森田 尊久/星野 祐治